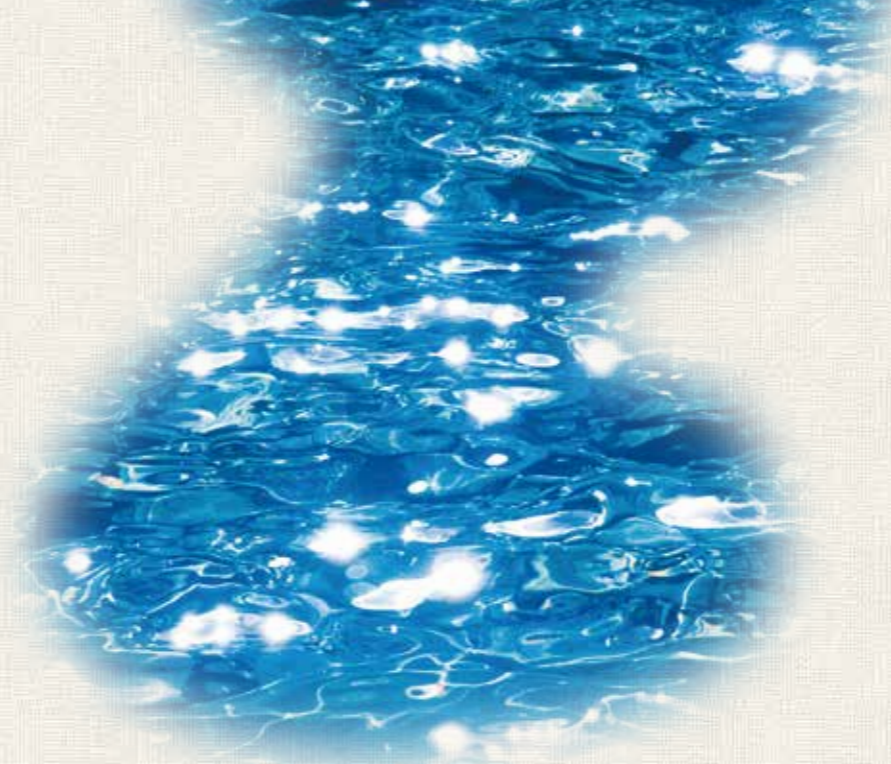


100th anniversary

伊万里の 水道100年誌

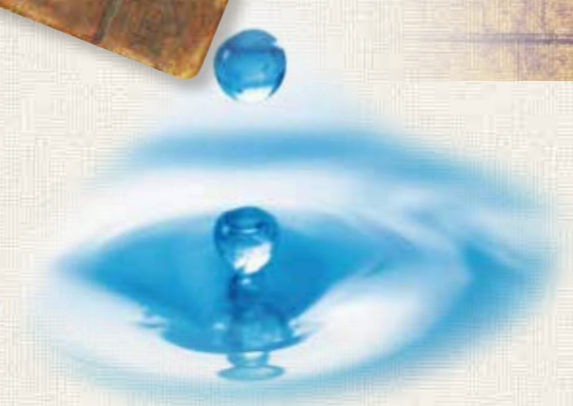


伊万里の水道100年誌



伊万里市水道部

〒848-0027 伊万里市立花町1542番地1
TEL 0955-23-5400
FAX 0955-23-2147



百年の歴史のなかで育まれた
 瞳のように光り輝く美しい伊万里の水を
 これからも
 未来のために守り育てます。

伊万里の水道100年誌



伊万里の水道100年誌



C O N T E N T



目
 次

水道通水100周年に寄せて	2
記念誌発刊にあたって	3
伊万里の水はここから・・・水源	4
いい水を作ろう・・・水道施設	6
多くの人に水道を・・・上水道100年のあゆみ	
創設の時代	10
創設時代のエピソード (特集)	15
第1次・第2次拡張事業	17
第3次拡張事業	18
第4次拡張事業	20
第5次拡張事業	22
第6次拡張事業	24
暮らしと水 (特集)	25
水道事業をよりよく行うために (特集)	26
第7次拡張事業	27
第8次拡張事業	28
緊急時給水拠点確保事業	30
有田川浄水場施設整備事業	32
第9次拡張事業	34
屋敷野・大野岳地区への拡張	38
有田川浄水場更新事業	40
伊万里津の水物語 (特集)	42
小さな施設が大きな喜びに・・・簡易水道事業	44
安心・安全な水をめざして・・・維持管理業務	52
自然災害と水道 (特集)	
産業の血液・・・工業用水道事業	60
統計／資料	72

※表紙は大正時代から使用された共用栓の鍵と創設認可書。



快適な生活を守るために、豊かな自然環境のなかで生まれる、美しく澄んだ水をこれからも私たちはお届けしていきます。

水道通水百周年に寄せて



伊万里市長
塚部 芳和

伊万里市の水道事業は、大正4年1月、九州では長崎市、佐世保市、北九州市（門司区）に続き4番目に伊万里町に給水を始めて以来、今年で記念すべき100周年という節目の年を迎えました。あわせて市制施行60周年の年でもあります。

顧みますと創設当時は、伊万里川を水源として、現在の円造寺公園に浄水場を設置し、約5千人の町民に給水を行っていましたが、その後本市が持つ地理的・地形的な厳しい制約のなか、上水道事業は水需要の増加に伴い水源を有田川に移し、市街地から周辺地域へと9次にわたる拡張事業を行ってきました。現在は有田川浄水場に加え、平成24年7月からは新たに大川浄水場を稼働し、2ヶ所の浄水場より水道水を供給するとともに、上水道の拡張が難しい地域では7ヶ所の簡易水道を設置し、より多くの地域で快適な生活の一助となるべく事業を展開してまいりました。この結果、現在では民営の簡易水道なども含めた水道普及率は98.0%（5万6千人）に達しております。

また、昭和49年から給水を開始した工業用水道事業は、低廉豊富な工業用水を安定的に供給することにより本市の企業活動を支えており、平成21年7月に給水を開始した第4工業用水道は、さらなる本市産業の発展に寄与するものと考えております。

現在の水道は、市民生活と産業活動に欠かせないライフラインの一つであり、平時はもとより災害時においても速やかな復旧により安定的な給水が求められています。本市では、今後とも「安全で質の高い水をより安定的に、市民の皆様にお届けすること」をテーマに、さらに努力して参ります。

おわりに、本書を通じて、市民の皆様が水道に対する関心をより深めていただき、水の大切さをご理解いただけるようになれば幸いに存じます。

記念誌発刊にあたって



伊万里市水道事業管理者
職務代理者
中尾 俊幸

大正4年に給水を開始し、九州では4番目という歴史を持つ伊万里市の水道は、通水100周年を迎えました。

本市の水道は、市政の発展や市民生活の向上に伴う水需要の増大に対応してより多くの方々に安全で安心な水道水を供給すべく、9次にわたる拡張事業を進めてまいりました。

また、企業誘致を進めるため、昭和49年から工業用水道事業を興して以来、平成21年7月には第4工業用水道を完成させ、現在では18事業所に対して安定的に用水の供給を行っております。

通水開始より100年を経た現在、水道事業を取り巻く社会情勢は厳しさを増しており、少子高齢化の進行による人口の減少や景気の低迷、節水器具の普及などにより水需要は逡減傾向にあります。さらには、高度経済成長期に建設された施設の老朽化対策など、解決すべき課題が山積しております。

今回の記念誌は、水道事業創設から大正・昭和・平成にわたる歴史を振り返り、一世紀の間安全で安心な飲料水の供給を行ってきた多くの先人達の知恵と努力を再認識するとともに、未来に向かって新たな一歩を踏み出すための節目とすべく、これまでに発刊した記念誌をもとに編集をいたしました。

本書の刊行に際し、ご助言や資料等の提供などご協力をいただきました多くの方々に厚くお礼申し上げます。